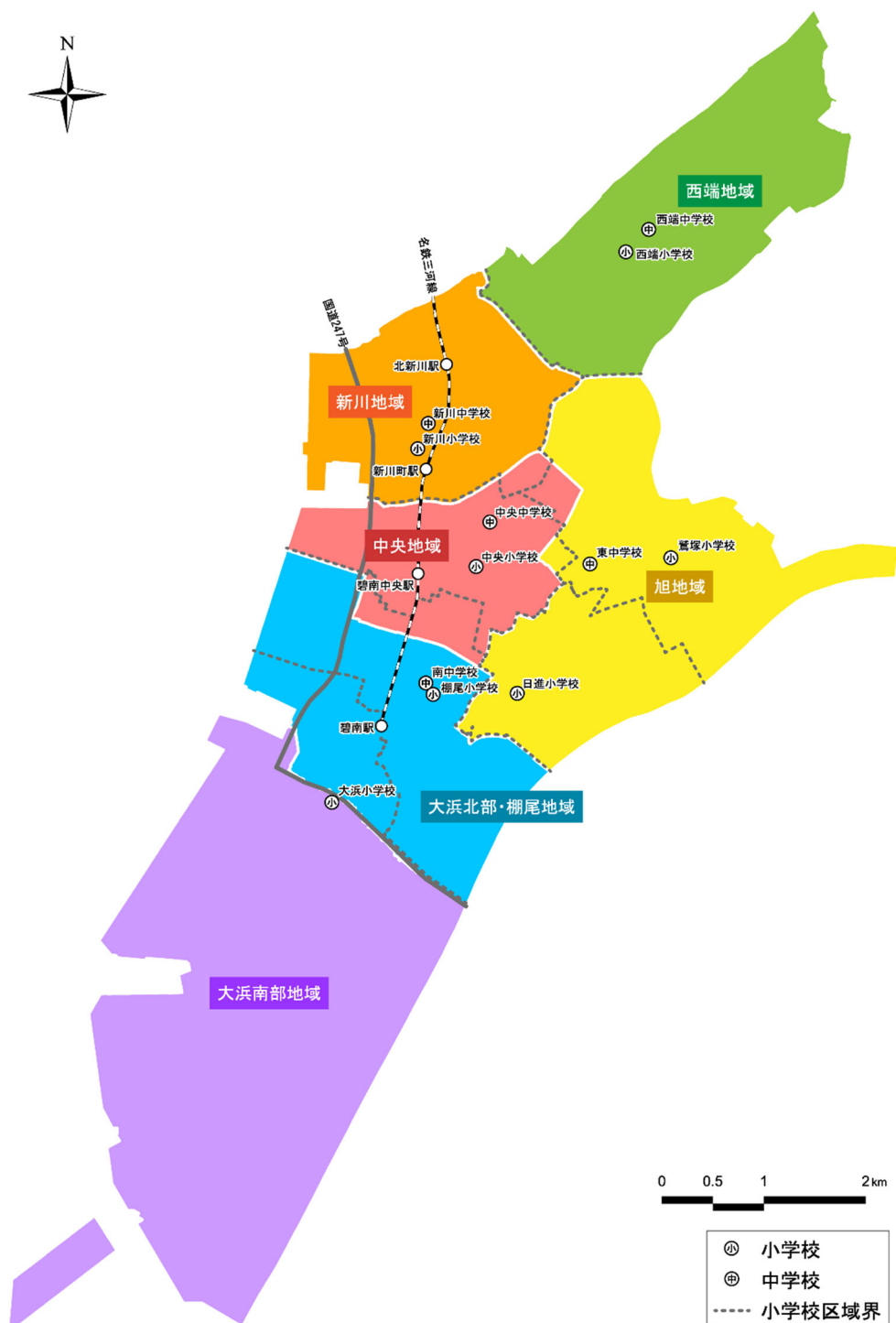


第7章 地域別緑のまちづくり方針

7.1 地域区分

地域区分の設定は、地形等の自然条件、土地利用の状況、幹線道路等の交通軸、日常生活上の交流の範囲等を考慮しながら、小学校区を基本として設定された碧南市都市計画マスタープランの地域区分によることとします。



7.2 地域別緑のまちづくり方針

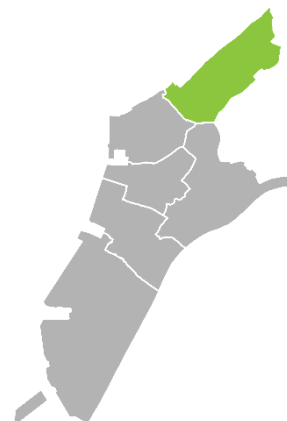
(1) 西端地域

① 緑の概要

西端地域は、油ヶ淵、高浜川、長田川等に囲まれ、市街化区域周辺には農地が広がっています。

市街化区域内及びその近隣には、街区公園として札木公園、湖西公園、三度山公園、公共施設緑地として油ヶ淵遊園地、油ヶ淵地域運動広場、西端小・中学校、哲学たいけん村無我苑等があるほか、県営油ヶ淵水辺公園（平成30年4月一部開園）の整備が進められています。

区域面積に対する緑地の割合は、市街化区域内では8.0%で全市に比べ低くなっていますが、地域全体では60.2%となっており、緑に恵まれた地域といえます。



地域人口	地域面積	
	市街化区域	都市計画区域
8,253 人	117.1 ha	535.6 ha

※人口は住民基本台帳人口(平成30年3月31日)

■緑の現況

平成 30 年 3 月 31 日現在

平成30年5月31日現在

施設緑地						地域制緑地							
			市街化区域		都市計画区域					市街化区域		都市計画区域	
			箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)				箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
都市公園	住区基幹公園	街区公園	3	0.50	3	0.50	法によるもの	農用地区域				285.34	
		近隣公園	0	0.00	0	0.00		生産緑地地区		2.19		2.19	
		地区公園	0	0.00	0	0.00		河川区域		0.06		21.65	
	都市基幹公園	総合公園	0	0.00	0	0.00	条例・協定によるもの			1.16		1.31	
		運動公園	0	0.00	0	0.00	地域制緑地 総計			3.41		310.49	
	基幹公園 計		3	0.50	3	0.50							
	都市緑地		0	0.00	0	0.00							
	広域公園		0	0.00	1	1.70							
	都市公園 計		3	0.50	4	2.20							
公共施設緑地	都市公園に準ずる公園		3	0.48	6	2.35							
	臨海部緑地		0	0.00	0	0.00							
	児童遊園		0	0.00	1	0.04							
	ちびっ子広場		1	0.04	3	0.12							
	ふれあい農園		2	0.02	2	0.02							
	ゲートボール場		0	0.00	0	0.00							
	グラウンド		1	1.18	2	1.88							
	自転車歩行者及び歩行者専用道路		0	0.00	0	0.00							
	道路環境施設帯		0	0.00	0	0.00							
	河川緑地		0	0.00	0	0.00							
	その他		6	2.99	7	3.04							
	公共施設緑地 計		13	4.71	21	7.45							
	民間施設緑地	寺社境内地		2	1.64	2	1.64						
民間の動植物園		0	0.00	0	0.00								
一時開放広場		0	0.00	0	0.00								
その他		1	0.32	1	0.32								
民間施設緑地 計		3	1.96	3	1.96								
施設緑地 総計			19	7.17	28	11.61							

緑地総量(施設緑地+地域制緑地)					
区域面積に対する割合(%)		市街化区域		都市計画区域	
		西端地域	全 市	西端地域	全 市
		8.0	13.6	60.2	40.0

住民1人あたりの公園等面積(㎡/人)			
住民1人あたり都市公園面積	西端地域	2.7	
	全 市	6.0	
住民1人あたり都市公園等※面積	西端地域	11.7	
	全 市	21.0	

※都市公園等：都市公園と公共施設緑地を合わせた面積

緑被現況					
		市街化区域		都市計画区域	
		緑被地面積(ha)	緑被率(%)	緑被地面積(ha)	緑被率(%)
西端地域	緑被地面積(ha)	22	329		
	緑被率(%)	18.8	61.4		
全 市	緑被地面積(ha)	403	1,593		
	緑被率(%)	19.0	44.4		

※広域公園（県営油ヶ淵水辺公園）は平成30年4月開設分を含む。

■代表的な地域資源

- 市の骨格をなす油ヶ淵、高浜川、長田川、稗田川
- 市街地を囲む広大な農地
- 札木公園、湖西公園、三度山公園（街区公園）、県営油ヶ淵水辺公園（広域公園）
- 油ヶ淵遊園地、油ヶ淵地域運動広場、西端小・中学校、哲学たいけん村無我苑、ちびっこ広場、児童遊園等の公共施設緑地
- 幹線道路の街路樹等
- 八劔神社の保存樹林
- 高地と低地の境にある西端里地等斜面林
- 市街化区域に点在する生産緑地地区

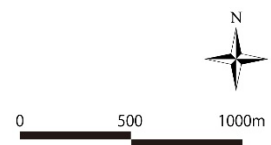
街区公園（札木公園）



八劔神社



斜面林



凡例

都市公園・緑地	緑被現況	緑化道路
公共施設緑地	樹林地・草地	斜面林
民間施設緑地	農地	地域界
生産緑地地区	水面	市街化区域(現況)
保存樹林		

油ヶ淵水辺公園



油ヶ淵遊園地



油ヶ淵



② 地域住民の活動・意識

緑に関する活動団体として、公園等愛護会、老人クラブ等合わせて12団体が、地域内の公園等において除草、清掃、花壇の管理等のボランティア活動を行っています。

緑に関する活動団体					
団体種別	公園等愛護会	花いっぱい活動団体	老人クラブ	赤十字奉仕団	アダプトプログラム
団体数	5	1	4	1	1

また、地区別懇談会では、最近10年間くらいで良くなったところ、悪くなったところとして次のような意見が出されています。

最近10年間くらいで良くなったところ

- 油ヶ淵水辺公園が開園し、湖周辺の景観が向上した。
- 西端保育園近くの畑（個人の畑）の花壇が手入れしてありきれい。
- 道路脇の花植え活動により景観がよくなった。
- 店先に花の寄せ植えがあるのはいい。
- 三度山公園で子どもが遊べるようになった。

最近10年間くらいで悪くなったところ

- ▲油ヶ淵公園が開園したが、すでに草が多い。油ヶ淵遊園地のトイレは和式ばかり。
- ▲子ども広場の公園がなくなり雑草が生えている。
- ▲公園が大人の休憩所のように公園っぽくない。健康遊具がない。
- ▲公園内に大きな木や木陰が少ないためピクニック等ができない。
- ▲道路の草取りのタイミングが悪い。道具の提供があれば自分たちで草刈りを行う。
- ▲斜面林は災害時不安、竹藪は蚊が発生する。
- ▲駐車場がある大きな臨海公園等に遊びに行く。
- ▲ローラースケートやスケボー等道路以外でやれる場所がない。

③ 地域の課題

本地域における緑の現況や地域住民の意向を踏まえ、緑のまちづくりに関する課題を整理しました。

- 河川、斜面林等自然の緑の保全と適切な管理
- 生産性のある広大な農地の保全
- 油ヶ淵等河川の水質改善
- 寺社等歴史ある緑の保全と活用
- 県営油ヶ淵水辺公園の整備と、維持管理体制の構築
- 地域に不足する公園緑地の整備と、住民ニーズを踏まえた施設の充実
- 地域住民、団体、事業者との協働による市街地の緑の創出と育成、管理

④ 緑のまちづくり方針

地域の現況や課題を踏まえ、西端地域の緑のまちづくりの方針を以下のように設定します。

油ヶ淵を中心に自然との共生を目指す緑のまちづくり

＜具体的な取組＞

- 自然とのふれあいの場、憩いの場となる県営油ヶ淵水辺公園の整備を促進します。また、市民と協働で管理・活用できる体制の構築を推進します。
- 油ヶ淵、高浜川、長田川等水辺環境の保全と活用や、都市計画道路の空間の活用により、県営油ヶ淵水辺公園を拠点に水と緑のネットワークの形成を図ります。
- 保存樹林等の指定により斜面林、社寺林等自然の緑の一体的な保全と活用を図ります。
- 市街化区域の拡大においては、地区計画等の活用により、街区公園の整備、公共空間や民有地の緑化を図ります。
- 密集市街地において緑のオープンスペースの確保を検討します。
- 市街化区域に点在する生産緑地地区の保全と活用を図ります。
- 身近な街区公園の整備と地域住民との協働による施設の適正な維持管理を推進します。
- 各種制度を活用して、地域住民との協働による市街地の緑化を推進します。
- 地域住民のスポーツやレクリエーション活動の拠点として、グラウンドを有する緑地整備を推進します。
- 産業地の整備においては、接道部への植栽や壁面緑化等による緑化を推進します。
- 市営宮下住宅の建替えの際には、周辺的环境整備や緑地の確保に努めます。



市街地沿道の植栽

西端地域の緑のまちづくり方針図



凡例

都市公園(現況)	民間施設緑地	緑の拠点	地域界
都市公園(計画)	生産緑地地区	水の拠点	市街化区域(現況)
公共施設緑地	農用地区域	緑のみち	新たな住宅地
公共施設緑地(計画)	河川区域	水の環境軸	新たな産業地

(2) 新川地域

① 緑の概要

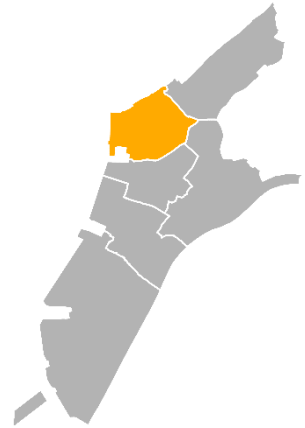
新川地域は、衣浦港、高浜川、新川、稗田川に囲まれ、地域のほとんどが市街化区域となっています。

市を代表する公園である明石公園のほか、街区公園として六軒町公園、相生公園、久杵公園が整備されています。また、公共施設緑地として、羽久手公園グラウンド、新川小・中学校等があります。

区域面積に対する緑地の割合は、市街化区域内では11.4%で全市に比べやや低く、地域全体でも16.1%となっており、緑が少ない地域といえます。

地域人口	地域面積	
	市街化区域	都市計画区域
13,893 人	374.2 ha	376.4 ha

※人口は住民基本台帳人口(平成30年3月31日)



■緑の現況

平成30年3月31日現在

施設緑地					
		市街化区域		都市計画区域	
		箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
都市公園	住区基幹公園	3	0.53	3	0.53
	近隣公園	0	0.00	0	0.00
	地区公園	1	7.10	1	7.10
	都市基幹公園	0	0.00	0	0.00
	運動公園	0	0.00	0	0.00
	基幹公園 計	4	7.63	4	7.63
	都市緑地	0	0.00	0	0.00
	広域公園	0	0.00	0	0.00
都市公園 計		4	7.63	4	7.63
公共施設緑地	都市公園に準ずる公園	4	0.21	4	0.21
	臨海部緑地	1	1.26	1	1.26
	児童遊園	2	0.23	2	0.23
	ちびっ子広場	12	0.31	12	0.31
	ふれあい農園	1	0.04	1	0.04
	ゲートボール場	1	0.06	1	0.06
	グラウンド	1	0.86	1	0.86
	自転車歩行者及び歩行者専用道路	0	0.00	0	0.00
	道路環境施設帯	1	6.05	1	6.05
	河川緑地	0	0.00	0	0.00
	その他	10	4.24	10	4.24
	公共施設緑地 計	33	13.26	33	13.26
民間施設緑地	寺社境内地	9	3.49	9	3.49
	民間の動植物園	0	0.00	0	0.00
	一時開放広場	0	0.00	0	0.00
	その他	2	0.32	2	0.32
民間施設緑地 計		11	3.81	11	3.81
施設緑地 総計		48	24.70	48	24.70

地域制緑地					
		市街化区域		都市計画区域	
		箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
法によるもの	農用地区域				7.45
	生産緑地地区		9.28		9.28
	河川区域		0.19		10.63
	条例・協定によるもの		10.20		10.20
地域制緑地 総計			19.67		37.56
施設緑地間の重複		9	0.254	9	0.254
施設緑地・地域制緑地間の重複		9	1.37	9	1.37
計		18	1.62	18	1.62

緑地総量(施設緑地+地域制緑地)			
		市街化区域	都市計画区域
区域面積に対する割合(%)	新川地域	11.4	16.1
	全 市	13.6	40.0

住民1人あたりの公園等面積(m ² /人)			
住民1人あたり都市公園面積	新川地域	5.5	
	全 市	6.0	
住民1人あたり都市公園等 [※] 面積	新川地域	15.0	
	全 市	21.0	

※都市公園等：都市公園と公共施設緑地を合わせた面積

緑被現況			
		市街化区域	都市計画区域
新川地域	緑被地面積(ha)	66	80
	緑被率(%)	17.6	21.3
全 市	緑被地面積(ha)	403	1,593
	緑被率(%)	19.0	44.4

■代表的な地域資源

- 市の骨格をなす緑の衣浦港、高浜川、新川、稗田川
- 高浜川左岸側に広がるまとまった農地
- 市を代表し広域的な緑の拠点となる明石公園(地区公園)

- 六軒町公園、相生公園、久沓公園（街区公園）
- 羽久手公園グラウンド、新川小・中学校、ちびっこ広場、児童遊園等公共施設緑地
- 幹線道路の街路樹等
- 臨海部と市街地の緩衝帯となっている公有水面と緩衝緑地
- 臨海工業地帯の緑化
- 斎宮社、山神社、浅間社、西松江稻荷社、住吉神社、東松江神明社、東山秋葉社、白山神社、御鋸社、新川神社の保存樹林
- 市街化区域北東のまとった生産緑地地区



② 地域住民の活動・意識

緑に関する活動団体として、老人クラブ、アダプトプログラム等合わせて18団体が、地域内の公園等において除草、清掃、花壇の管理等のボランティア活動を行っています。

緑に関する活動団体					
団体種別	公園等愛護会	花いっぱい活動団体	老人クラブ	赤十字奉仕団	アダプトプログラム
団体数	1	2	8	2	3

また、地区別懇談会では、最近10年間くらいで良くなったところ、悪くなったところとして次のような意見が出されています。

最近10年間くらいで良くなったところ

- 明石公園の整備が向上した。
- 道路や遊休地の花壇がいい。
- 緑の管理を補助金もらった老人会が担っている部分がある。
- 子育て世代が利用できる公園が増加した。

最近10年間くらいで悪くなったところ

- ▲明石公園は外灯が少なく暗い。
- ▲他地区に比べ公園が減少した。ボール利用可能な公園が減少した。遊具が少ない。
- ▲西端線の街路樹の管理が悪い。視認性悪化のため、危険である。緑が減少した。
- ▲街路樹、公園等の管理が悪い。
- ▲狭小庭の分譲住宅の増加により緑が減少した。

③ 地域の課題

本地域における緑の現況や地域住民の意向を踏まえ、緑のまちづくりに関する課題を整理しました。

- 河川等良好な水辺環境の形成と水質改善
- 農地や生産緑地地区の保全と活用
- 寺社等歴史ある緑の保全と活用
- 県営油ヶ淵水辺公園の整備
- 地域に不足する公園緑地の整備
- 住民ニーズを踏まえた公園緑地の環境整備
- 街路樹の適正な管理
- 工業地の緑化と緩衝緑地の保全と管理
- 地域住民、団体、事業者との協働による市街地の緑の創出と育成、管理

④ 緑のまちづくり方針

地域の現況や課題を踏まえ、新川地域の緑のまちづくりの方針を以下のように設定します。

駅を中心に水と緑で賑わいを創造する緑のまちづくり

<具体的な取組>

- 自然とのふれあいの場、憩いの場、市民の協働の場となる県営油ヶ淵水辺公園の整備を促進します。
- 新川、高浜川の河川と公有水面の環境の保全と水辺空間の活用や、都市計画道路の空間の活用により、県営油ヶ淵水辺公園、明石公園を拠点に水と緑のネットワークの形成を図ります。
- 緑化重点地区の指定により、沿道緑化や民有地緑化等一体的に緑化を推進します。（緑化重点地区の整備方針を第8章に示します。）
- 社寺林等市街地内の緑の保全と活用を図ります。
- 地域を代表する緑の拠点となる近隣公園の整備を推進します。
- 密集市街地において緑のオープンスペースの確保を図ります。
- 既存の街区公園のリニューアルを検討します。
- 臨海工業地帯と市街地を緩衝する緩衝緑地の保全に努めます。
- 公害防止協定による臨海工業地帯の緑化を推進します。
- 市街化区域に点在する生産緑地地区の保全と活用を図ります。
- 身近な街区公園の整備と地域住民との協働による施設の適正な維持管理を推進します。
- 各種制度を活用して、地域住民との協働による市街地の緑化を推進します。



明石公園周辺道路の植栽

新川地域の緑のまちづくり方針図



凡例

都市公園(現況)	生産緑地地区	緑の環境軸	地域界
都市公園(計画)	河川区域	緑のみち	市街化区域(現況)
公共施設緑地	緑の拠点	水的环境軸	新たな住宅地
民間施設緑地	水の拠点		

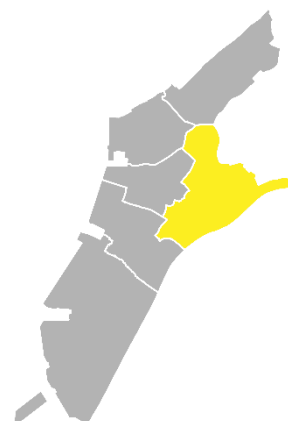
(3) 旭地域

① 緑の概要

旭地域は、油ヶ淵、矢作川に面し、これらの水辺に隣接して農地が広がっているほか、矢作川沿いには桜づつみが整備されています。

市街化区域内には、伏見公園、日進公園等街区公園が多く整備され、東中学校、鷺塚小学校、日進小学校等の公共施設緑地が立地しています。また、多くの生産緑地地区が点在しています。区域の東部には近隣公園として水源公園が整備されています。

区域面積に対する緑地の割合は、市街化区域内では9.9%で他の地域に比べ低くなっていますが、地域全体では51.2%となっており、緑に恵まれた地域といえます。



地域人口	地域面積	
	市街化区域	都市計画区域
16,206 人	310.4 ha	645.6 ha

※人口は住民基本台帳人口(平成30年3月31日)

■緑の現況

平成 30 年 3 月 31 日現在

施設緑地						
			市街化区域		都市計画区域	
			箇所数	面積 (ha)	箇所数	面積 (ha)
都市公園	住区基幹公園	街区公園	7	2.35	7	2.35
		近隣公園	1	0.57	2	2.61
		地区公園	0	0.00	0	0.00
	都市基幹公園	総合公園	0	0.00	0	0.00
		運動公園	0	0.00	0	0.00
	基幹公園 計		8	2.92	9	4.96
	都市緑地		0	0.00	0	0.00
	広域公園		0	0.00	0	0.00
	都市公園 計		8	2.92	9	4.96
公共施設緑地	都市公園に準ずる公園		6	0.26	7	1.80
	臨海部緑地		0	0.00	0	0.00
	児童遊園		3	0.31	3	0.31
	ちびっ子広場		4	0.33	5	0.37
	ふれあい農園		3	0.09	3	0.09
	ゲートボール場		4	0.42	4	0.42
	グラウンド		0	0.00	0	0.00
	自転車歩行者及び歩行者専用道路		5	0.77	5	0.77
	道路環境施設帯		0	0.00	0	0.00
	河川緑地		0	0.00	1	14.77
	その他		10	4.35	10	4.35
	公共施設緑地 計		35	6.53	38	22.88
民間施設緑地	寺社境内地		3	1.89	3	1.89
	民間の動植物園		1	0.11	1	0.11
	一時開放広場		0	0.00	0	0.00
	その他		1	0.35	2	0.62
	民間施設緑地 計		5	2.35	6	2.62
施設緑地 総計			48	11.80	53	30.46

地域制緑地					
		市街化区域		都市計画区域	
		箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
法によるもの	農用地区域				202.80
	生産緑地地区		18.57		18.57
	河川区域		0.19		93.40
	条例・協定によるもの		1.18		1.23
地域制緑地 総計			19.94		316.00
施設緑地間の重複		3	0.31	3	0.31
施設緑地・地域制緑地間の重複		5	0.84	6	15.61
計		8	1.15	9	15.92

緑地総量(施設緑地+地域制緑地)			
		市街化区域	都市計画区域
区域面積に対する割合(%)	旭地域	9.9	51.2
	全 市	13.6	40.0

住民1人あたりの公園等面積(m ² /人)			
住民1人あたり都市公園面積	旭地域		3.1
	全 市		6.0
住民1人あたり都市公園等 [※] 面積	旭地域		17.2
	全 市		21.0

※都市公園等：都市公園と公共施設緑地を合わせた面積

緑被現況			
		市街化区域	都市計画区域
旭地域	緑被地面積(ha)	65	376
	緑被率(%)	20.9	58.2
全 市	緑被地面積(ha)	403	1,593
	緑被率(%)	19.0	44.4

■代表的な地域資源

- 市の骨格をなす緑の矢作川、油ヶ淵
- 矢作川、油ヶ淵に隣接して広がる農地
- 水源公園（近隣公園）
- 伏見公園、日進公園、三宅公園等（街区公園）
- 矢作川桜づつみ
- 東中学校、鷺塚小学校、日進小学校、ちびっこ広場、児童遊園等公共施設緑地
- 幹線道路の街路樹等
- 神有天満社、神明社、稲荷社、天満神社、厳島社、霞浦神社の保存樹林
- 市道藪下東山線沿いの崖地の斜面林
- 市街化区域のまとまった生産緑地地区



② 地域住民の活動・意識

緑に関する活動団体として、公園等愛護会、老人クラブ等合わせて21団体が、地域内の公園等において除草、清掃、花壇の管理等のボランティア活動を行っています。

緑に関する活動団体					
団体種別	公園等愛護会	花いっぱい活動団体	老人クラブ	赤十字奉仕団	アダプトプログラム
団体数	10	3	4	2	2

また、地区別懇談会では、最近10年間くらいで良くなったところ、悪くなったところとして次のような意見が出されています。

最近10年間くらいで良くなったところ

- 三宅公園の整備により利用率が向上した。
- 荒子町にちびっこ広場が建設された。
- 矢作川や水源公園の桜並木がいい。名所となるといい。
- 地域全体で公園の樹木が成長した。
- 日進フラワーロードの整備が地区の人の手による。
- 荒れ地がなく田畑が多い。

最近10年間くらいで悪くなったところ

- ▲他地区より公園が少ない。区画整理地内のみ公園がある。
- ▲三宅公園の子ども遊具が少ない。
- ▲街路樹整備が滞っている。
- ▲民地内や神社仏閣の樹木管理に危険性がある。

③ 地域の課題

本地域における緑の現況や地域住民の意向を踏まえ、緑のまちづくりに関する課題を整理しました。

- 河川、農地等自然の緑の保全
- 矢作川の水辺環境の保全と整備
- 斜面林の保全と適正な維持管理
- 寺社等歴史ある緑の保全と活用
- 県営油ヶ淵水辺公園の整備
- 住民ニーズを踏まえた公園緑地の環境整備
- 安心して利用できる公園緑地としての維持管理
- 地域住民、団体、事業者との協働による市街地の緑の創出と育成

④ 緑のまちづくり方針

地域の現況や課題を踏まえ、旭地域の緑のまちづくりの方針を以下のように設定します。

矢作川や油ヶ淵の水辺空間を活かして自然とふれあえる緑のまちづくり

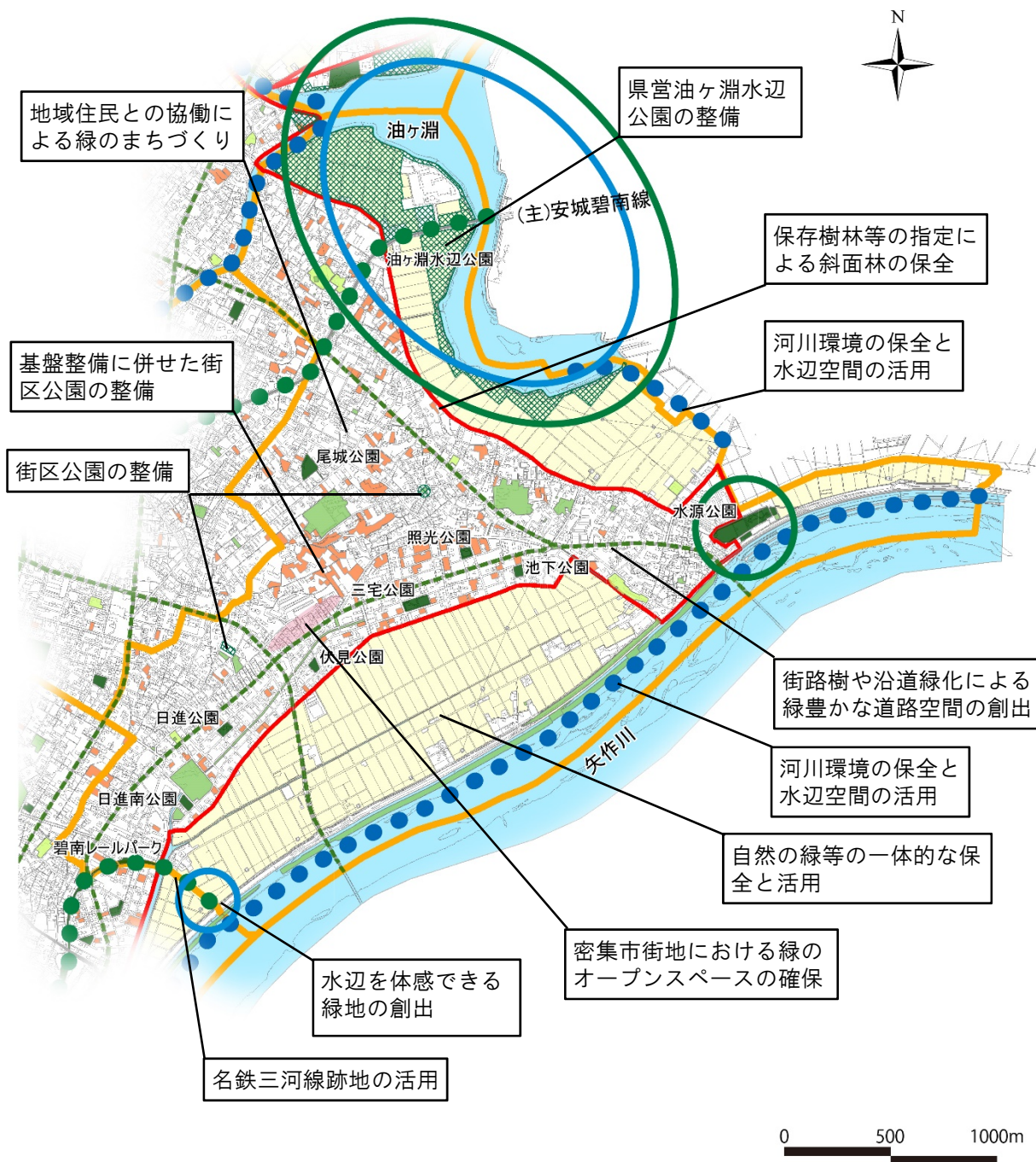
＜具体的な取組＞

- 自然とのふれあいの場、憩いの場、市民の協働の場となる県営油ヶ淵水辺公園の整備を促進します。
- 矢作川、油ヶ淵の河川環境の保全と水辺空間の活用や、都市計画道路の空間の活用により、県営油ヶ淵水辺公園や水源公園を拠点に水と緑のネットワークの形成を図ります。
- 保存樹林等の指定により、優良農地や斜面林、社寺林等自然の緑の一体的な保全と活用を図ります。
- 市街地整備に併せた街区公園の整備を検討します。
- 既存の街区公園のリニューアルを検討します。
- 市街化区域に点在する生産緑地地区の保全と活用を図ります。
- 身近な街区公園の整備と地域住民との協働による施設の適正な維持管理を推進します。
- 各種制度を活用して、地域住民との協働による市街地の緑化を推進します。
- 名鉄三河線跡地については、碧南レールパークの矢作川までの延伸を推進し、歩行者等の連続した動線を確保します。
- 矢作川と名鉄三河線跡地が交差する周辺に、水の拠点として水辺を体感できる緑地の創出を図ります。



油ヶ淵

旭地域の緑のまちづくり方針図



凡例

都市公園(現況)	生産緑地地区	緑の拠点	水の水環境軸
都市公園(計画)	農用地区域	水の水環境軸	地域界
公共施設緑地	河川区域	緑の水環境軸	市街化区域(現況)
民間施設緑地		緑のみち	

(4) 中央地域

① 緑の概要

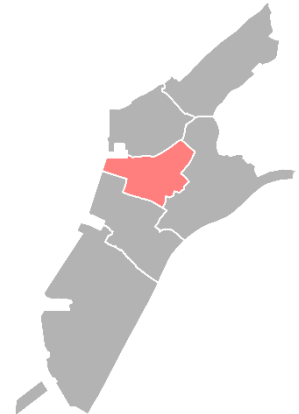
中央地域は、衣浦港、新川に面し、地域全域が市街化区域となっています。市役所等の主要な公共施設や商業施設・業務施設が集積し、碧南中央駅周辺は本市の中心核として位置づけられています。

地域内には、末広公園、沢渡公園等街区公園が数多く整備されているほか、衣浦港に面して須磨海岸緑地が整備されています。また、数は少ないですが、寺社境内地の樹林地や生産緑地地区が点在しています。

区域面積に対する緑地の割合は、地域全体で7.8%と、他の地域に比べ緑の少ない地域といえます。

地域人口	地域面積	
	市街化区域	都市計画区域
13,943 人	316.1 ha	316.1 ha

※人口は住民基本台帳人口(平成30年3月31日)



■緑の現況

平成30年3月31日現在

施設緑地						
			市街化区域		都市計画区域	
			箇所数	面積 (ha)	箇所数	面積 (ha)
都市公園	住区基幹公園	街区公園	11	4.89	11	4.89
		近隣公園	0	0.00	0	0.00
		地区公園	0	0.00	0	0.00
	都市基幹公園	総合公園	0	0.00	0	0.00
		運動公園	0	0.00	0	0.00
	基幹公園 計		11	4.89	11	4.89
	都市緑地		2	2.33	2	2.33
	広域公園		0	0.00	0	0.00
	都市公園 計		13	7.22	13	7.22
公共施設緑地	都市公園に準ずる公園		4	0.22	4	0.22
	臨海部緑地		1	0.89	1	0.89
	児童遊園		1	0.05	1	0.05
	ちびっ子広場		7	0.38	7	0.38
	ふれあい農園		0	0.00	0	0.00
	ゲートボール場		3	0.21	3	0.21
	グラウンド		0	0.00	0	0.00
	自転車歩行者及び歩行者専用道路		0	0.00	0	0.00
	道路環境施設帯		1	1.86	1	1.86
	河川緑地		0	0.00	0	0.00
	その他		6	3.36	6	3.36
	公共施設緑地 計		23	6.97	23	6.97
民間施設緑地	寺社境内地		4	2.23	4	2.23
	民間の動植物園		0	0.00	0	0.00
	一時開放広場		0	0.00	0	0.00
	その他		2	0.46	2	0.46
	民間施設緑地 計		6	2.69	6	2.69
施設緑地 総計			42	16.88	42	16.88

平成 30 年 5 月 31 日現在

地域制緑地					
		市街化区域		都市計画区域	
		箇所数	面積 (ha)	箇所数	面積 (ha)
法によるもの	農用地区域				
	生産緑地地区		2.51		2.51
	河川区域				
条例・協定によるもの			5.84		5.84
地域制緑地 総計			8.35		8.35

施設緑地間の重複		4	0.21	4	0.21
施設緑地・地域制緑地間の重複		2	0.29	2	0.29
計		6	0.50	6	0.50

緑地総量(施設緑地+地域制緑地)				市街化区域		都市計画区域	
				箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
区域面積に対する割合(%)	中央地域				7.8		7.8
	全 市				13.6		40.0

住民1人あたりの公園等面積(m ² /人)				市街化区域		都市計画区域	
				箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
住民1人あたり都市公園面積	中央地域				5.2		
	全 市				6.0		
住民1人あたり都市公園等 [※] 面積	中央地域				10.2		
	全 市				21.0		

※都市公園等：都市公園と公共施設緑地を合わせた面積

緑被現況				市街化区域		都市計画区域	
				箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
中央地域	緑被地面積(ha)				43		43
	緑被率(%)				13.6		13.6
全 市	緑被地面積(ha)				403		1,593
	緑被率(%)				19.0		44.4

■代表的な地域資源

- 市の骨格をなす緑の衣浦港、新川
- 末広公園、沢渡公園等(街区公園)

- 臨海部の須磨海岸緑地、碧緑地（都市緑地）
- 中央小中学校、ちびっこ広場、児童等の公共施設緑地
- 幹線道路の街路樹等
- 臨海部と市街地の緩衝帯となっている公有水面と緩衝緑地
- 臨海工業地帯の緑化
- 熊野神社、神明社（中山・道場山）、天王津島社の保存樹林
- 区域北東に点在する生産緑地地区



② 地域住民の活動・意識

緑に関する活動団体として、公園等愛護会、老人クラブ等合わせて19団体が、地域内の公園等において除草、清掃、花壇の管理等のボランティア活動を行っています。

緑に関する活動団体					
団体種別	公園等愛護会	花いっぱい活動団体	老人クラブ	赤十字奉仕団	アダプトプログラム
団体数	11	1	3	2	2

また、地区別懇談会では、最近10年間くらいで良くなったところ、悪くなったところとして次のような意見が出されています。

最近10年間くらいで良くなったところ

- 想像より公園が多い。
- 公園の手入れがいい。(老人会)
- 樹木の伐採により、見通しが向上した。
- 高校、老人会、個人等で花壇が設置されてきれい。

最近10年間くらいで悪くなったところ

- ▲公園が暗い。トイレが古い。利用しにくい。駐車場がない。
- ▲子どもの足で歩いていけるとところに公園がないところもある。
- ▲市内全般に野球場が多く、施設に偏りがある。
- ▲ランニングやウォーキングに適した矢作川活用の検討が必要である。
- ▲街路樹、公園、川の樹木や草の手入れが悪い。道を狭くしている。
- ▲緑が他地区より少ない。

③ 地域の課題

本地域における緑の現況や地域住民の意向を踏まえ、緑のまちづくりに関する課題を整理しました。

- 寺社等歴史ある緑の保全と活用
- 地域に不足する公園緑地の整備
- 公共空間のさらなる緑化
- 工業地の緑化と緩衝緑地の保全と管理
- 公園緑地の防災やレクリエーションとしての活用
- 安心して利用できる公園緑地としての維持管理
- 地域住民、団体、事業者との協働による市街地の緑の創出と育成

④ 緑のまちづくり方針

地域の現況や課題を踏まえ、中央地域の緑のまちづくりの方針を以下のように設定します。

駅を中心に潤いのある都市環境の形成を目指す緑のまちづくり

＜具体的な取組＞

- 新川、公有水面の環境の保全と水辺空間の活用や、都市計画道路の空間の活用により、県営油ヶ淵水辺公園を拠点とした水と緑のネットワークの形成を図ります。
- 社寺林等自然の緑の一体的な保全と活用を図ります。
- 既存の街区公園のリニューアルを検討します。
- 臨海工業地帯と市街地を緩衝する緩衝緑地の保全に努めます。
- 公害防止協定による臨海工業地帯の緑化を推進します。
- 地域に点在する生産緑地地区の保全と活用を図ります。
- 身近な街区公園の整備と地域住民との協働による施設の適正な維持管理を推進します。
- 都市緑地の保全と活用を図ります。
- 各種制度を活用して、地域住民との協働による市街地の緑化を推進します。
- 住宅地において、工場や商業施設等の移転、空家の取り壊し等が行われた場合には、跡地への公園等の整備を検討します。



市役所と沿道の植栽

中央地域の緑のまちづくり方針図



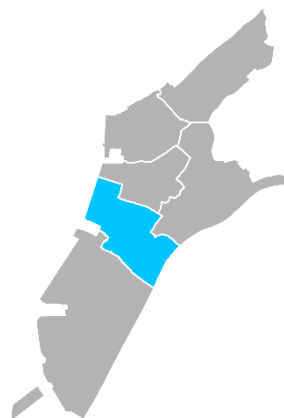
(5) 大浜北部・棚尾地域

① 緑の概要

大浜北部・棚尾地域は、矢作川、衣浦港に面し、区域の多くが市街化区域となっています。

市街化区域内には、本市の緑の拠点である碧南市臨海公園があるほか、碧南レールパーク（近隣公園）や、雨池公園、若宮公園、志貴崎公園等の街区公園が整備されていますが、密集市街地が多く、オープンスペースの少ない地域もみられます。

区域面積に対する緑地の割合は、市街化区域内では13.8%で市域全体とほぼ同じ割合となっていますが、地域全体では24.4%となっており、緑がやや少ない地域といえます。



地域人口	地域面積	
	市街化区域	都市計画区域
12,587 人	404.4 ha	476.2 ha

※人口は住民基本台帳人口(平成30年3月31日)

■緑の現況

平成 30 年 3 月 31 日現在

施設緑地						
			市街化区域		都市計画区域	
			箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
都市公園	住区基幹公園	街区公園	6	1.32	6	1.32
		近隣公園	1	2.03	1	2.03
		地区公園	0	0.00	0	0.00
	都市基幹公園	総合公園	1	12.00	1	12.00
		運動公園	0	0.00	0	0.00
	基幹公園 計		8	15.35	8	15.35
	都市緑地		1	0.66	1	0.66
	広域公園		0	0.00	0	0.00
都市公園 計		9	16.01	9	16.01	
公共施設緑地	都市公園に準ずる公園		9	0.92	9	0.92
	臨海部緑地		1	2.47	1	2.47
	児童遊園		1	0.05	1	0.05
	ちびっ子広場		3	0.12	3	0.12
	ふれあい農園		1	0.04	1	0.04
	ゲートボール場		1	0.07	1	0.07
	グラウンド		0	0.00	0	0.00
	自転車歩行者及び歩行者専用道路		9	0.33	9	0.33
	道路環境施設帯		1	2.72	1	2.72
	河川緑地		0	0.00	1	8.61
	その他		9	3.10	9	3.10
	公共施設緑地 計		35	9.82	36	18.43
民間施設緑地	寺社境内地		1	0.81	1	0.81
	民間の動植物園		0	0.00	0	0.00
	一時開放広場		1	0.76	1	0.76
	その他		1	0.39	1	0.39
	民間施設緑地 計		3	1.96	3	1.96
施設緑地 総計			47	27.79	48	36.40

地域制緑地			
		市街化区域	
		箇所数	面積(ha)
法によるもの	農用地区域		28.85
	生産緑地地区		4.06
	河川区域		1.95
	河川区域		33.52
条例・協定によるもの			22.71
地域制緑地 総計			89.14

施設緑地間の重複	1	0.05	1	0.05
施設緑地・地域制緑地間の重複	1	0.55	2	9.16
計	2	0.60	3	9.21

緑地総量(施設緑地+地域制緑地)			
		市街化区域	
		箇所数	面積(ha)
区域面積に対する割合(%)	大浜北・棚尾地域	13.8	24.4
	全 市	13.6	40.0

住民1人あたりの公園等面積(m ² /人)			
住民1人あたり都市公園面積	大浜北・棚尾地域		12.7
	全 市		6.0
住民1人あたり都市公園等*面積	大浜北・棚尾地域		27.4
	全 市		21.0

※都市公園等：都市公園と公共施設緑地を合わせた面積

緑被現況			
		市街化区域	
		箇所数	面積(ha)
大浜北・棚尾地域	緑被地面積(ha)	66	133
	緑被率(%)	16.3	27.9
全 市	緑被地面積(ha)	403	1,593
	緑被率(%)	19.0	44.4

■代表的な地域資源

- 市の骨格をなす緑の衣浦港、矢作川、堀川
- 矢作川に隣接して広がる農地

- 市を代表し広域的な緑の拠点となる碧南市臨海公園（総合公園）
- 雨池公園、若宮公園、志貴崎公園、長富公園等（街区公園）
- ちびっこ広場、児童遊園、大浜陣屋跡広場、南中学校、棚尾小学校等公共施設緑地・堀川の親水空間
- 臨海部と市街地の間の緩衝帯となっている公有水面や緩衝緑地
- 臨海工業地帯の緑化
- 幹線道路の街路樹等
- 廃線となった名鉄三河線跡地の碧南レールパーク（近隣公園）
- 大浜稻荷社、山稻荷社、八柱神社、熊野神社の保存樹林
- 市街化区域南東のまとまった生産緑地地区



② 地域住民の活動・意識

緑に関する活動団体として、公園等愛護会、アダプトプログラム等合わせて13団体が、地域内の公園等において除草、清掃、花壇の管理等のボランティア活動を行っています。

緑に関する活動団体					
団体種別	公園等愛護会	花いっぱい活動団体	老人クラブ	赤十字奉仕団	アダプトプログラム
団体数	8	1	1	1	2

また、地区別懇談会では、最近10年間くらいで良くなったところ、悪くなったところとして次のような意見が出されています。

最近10年間くらいで良くなったところ

- レールパークが整備された。
- レールパーク内照明が設置され、歩きやすくなった。
- レールパークにより安全な遊歩道が整備された。

最近10年間くらいで悪くなったところ

- ▲ レールパーク内の緑が少ない。
- ▲ レールパーク内の遊具の汎用性が低い。
- ▲ 公園はあるが、公園に行く際の駐車場がない。
- ▲ 公園内樹木の剪定や草取りが必要である。
- ▲ 旧市街地に公園がない。

③ 地域の課題

本地域における緑の現況や地域住民の意向を踏まえ、緑のまちづくりに関する課題を整理しました。

- 河川、農地等自然の緑の保全
- 寺社等歴史ある緑の保全と活用
- 密集市街地に不足する公園緑地の整備
- 密集市街地でのオープンスペースの確保
- 工業地の緑化と緩衝緑地の保全と管理
- 市有地の遊休地や名鉄三河線跡地の有効活用
- 地域住民、団体、事業者との協働による市街地の緑の創出と育成

④ 緑のまちづくり方針

地域の現況や課題を踏まえ、大浜北部・棚尾地域の緑のまちづくりの方針を以下のように設定します。

駅を中心に碧南レールパークを活用して水と緑のネットワークの形成を目指す緑のまちづくり

＜具体的な取組＞

- 矢作川、蜷川、堀川の河川や公有水面の環境保全と水辺空間の活用や、都市計画道路の空間の活用、碧南レールパーク・名鉄三河線跡地の活用により、水と緑のネットワークの形成を図ります。
- 緑化重点地区の指定により、市民協働による緑化を推進します。（緑化重点地区の整備方針を第8章に示します。）
- 優良農地や社寺林等自然の緑の一体的な保全と活用を図ります。
- 密集市街地において緑のオープンスペースの確保を図ります。
- 既存の街区公園のリニューアルを検討します。
- 名鉄三河線跡地については、碧南レールパークの碧南駅及び矢作川までの延伸を推進し、歩行者等の連続した動線を確保します。
- 臨海工業地帯と市街地を緩衝する緩衝緑地の保全に努めます。
- 公害防止協定による臨海工業地帯の緑化を推進します。
- 市街化区域に点在する生産緑地地区の保全と活用を図ります。
- 碧南市臨海公園は、子どもから高齢者まで幅広く利用できるよう、利用者のニーズを把握しつつ、適正な維持・改善を推進します。
- 身近な街区公園の整備と地域住民との協働による施設の適正な維持管理を推進します。
- 都市緑地の保全と活用を図ります。
- 各種制度を活用して、地域住民との協働による市街地の緑化を推進します。
- 矢作川と名鉄三河線跡地が交差する周辺に、水の拠点として水辺を体感できる緑地の創出を図ります。



大浜地区の辻広場

大浜北部・棚尾地域の緑のまちづくり方針図



凡例

都市公園(現況)	農用地区域	緑の環境軸	地域界
公共施設緑地	河川区域	緑のみち	市街化区域(現況)
民間施設緑地	緑の拠点	水の環境軸	
生産緑地地区	水の拠点		

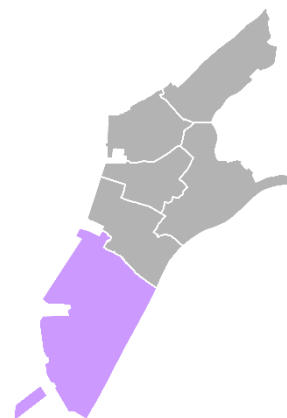
(6) 大浜南部地域

① 緑の概要

大浜南部地域は、矢作川、衣浦港に囲まれ、矢作川に沿って干拓による農地が広がっています。

市街化区域内には、権田公園、岬公園、若松公園等街区公園や玉津浦緑地、権現崎灯台緑地等都市緑地が整備されているほか、公共施設緑地として大浜小学校、玉津浦グラウンド、碧南緑地等があります。

区域面積に対する緑地の割合は、市街化区域内では19.4%で全市に比べて高く、地域全体でも47.1%となっており、緑に恵まれた地域といえます。



地域人口	地域面積	
	市街化区域	都市計画区域
7,880 人	594.9 ha	1,236.2 ha

※人口は住民基本台帳人口(平成30年3月31日)

■緑の現況

平成30年3月31日現在

施設緑地					
		市街化区域		都市計画区域	
		箇所数	面積(ha)	箇所数	面積(ha)
都市公園	住区基幹公園	10	2.46	12	3.44
	近隣公園	0	0.00	0	0.00
	地区公園	0	0.00	0	0.00
	都市基幹公園	0	0.00	0	0.00
	運動公園	0	0.00	0	0.00
	基幹公園 計	10	2.46	12	3.44
	都市緑地	3	4.18	3	4.18
	広域公園	0	0.00	0	0.00
	都市公園 計	13	6.64	15	7.62
公共施設緑地	都市公園に準ずる公園	2	0.08	3	3.58
	臨海部緑地	3	15.12	3	15.12
	児童遊園	1	0.05	2	0.10
	ちびっ子広場	2	0.27	3	0.29
	ふれあい農園	0	0.00	0	0.00
	ゲートボール場	0	0.00	0	0.00
	グラウンド	6	9.80	6	9.80
	自転車歩行者及び歩行者専用道路	13	0.24	13	0.24
	道路環境施設帯	1	0.75	1	0.75
	河川緑地	0	0.00	1	6.87
	その他	4	2.00	6	3.36
	公共施設緑地 計	32	28.31	38	40.11
民間施設緑地	寺社境内地	1	3.71	2	4.05
	民間の動植物園	2	12.43	2	12.43
	一時開放広場	1	1.83	1	1.83
	その他	2	1.20	2	1.20
民間施設緑地 計		6	19.17	7	19.51
施設緑地 総計		51	54.12	60	67.24

地域制緑地			
		市街化区域	都市計画区域
		箇所数	面積(ha)
法によるもの	農用地区域		321.56
	生産緑地地区	7.46	7.46
	河川区域		138.75
	条例・協定によるもの	56.33	56.51
地域制緑地 総計		63.79	524.28

施設緑地間の重複	1	0.05	2	0.10
施設緑地・地域制緑地間の重複	1	2.20	3	9.18
計	2	2.25	5	9.28

緑地総量(施設緑地+地域制緑地)			
		市街化区域	都市計画区域
区域面積に対する割合(%)	大浜南部地域	19.4	47.1
	全 市	13.6	40.0

住民1人あたりの公園等面積(m ² /人)			
住民1人あたり都市公園面積	大浜南部地域	9.7	
	全 市	6.0	
住民1人あたり都市公園等 [※] 面積	大浜南部地域	60.6	
	全 市	21.0	

※都市公園等：都市公園と公共施設緑地を合わせた面積

緑被現況			
		市街化区域	都市計画区域
大浜南部地域	緑被地面積(ha)	142	631
	緑被率(%)	23.9	51.0
全 市	緑被地面積(ha)	403	1,593
	緑被率(%)	19.0	44.4

■代表的な地域資源

- 市の骨格をなす緑の衣浦港、矢作川、蜷川
- 蜷川左岸側に広がる広大な農地
- 碧南緑地、あおいパーク、ヒーリングガーデン、エコパーク等緑の拠点

碧南市緑の基本計画

- ボードウォーク等碧南緑地周辺の水辺空間
- 釣り広場、港南緑地の水の拠点
- 権田公園、岬公園、若松公園等（街区公園）
- 玉津浦緑地、権現崎灯台緑地、港南緑地（都市緑地）
- 玉津浦グラウンド、大浜小学校、ちびっこ広場、児童遊園等の公共施設緑地
- 幹線道路の街路樹等
- 臨海部と市街地の緩衝帯となっている緩衝緑地、グラウンド
- 大浜熊野大神社、川口神社、稲荷社（前浜）の保存樹林
- 地域を代表する景観資源となっている前浜緑地
- 市街化区域南東に多く点在する生産緑地地区



② 地域住民の活動・意識

緑に関する活動団体として、公園等愛護会、老人クラブ等合わせて10団体が、地域内の公園等において除草、清掃、花壇の管理等のボランティア活動を行っています。

緑に関する活動団体					
団体種別	公園等愛護会	花いっぱい活動団体	老人クラブ	赤十字奉仕団	アダプトプログラム
団体数	3	1	2	2	2

また、地区別懇談会では、最近10年間くらいで良くなったところ、悪くなったところとして次のような意見が出されています。

最近10年間くらいで良くなったところ

- 公園が増加した。画一的ではなく遊具の工夫もありいい。
- 前浜公園や臨海公園の利用が増加した。
- 大浜南部区画整理後の公園のボランティア管理がいい。

最近10年間くらいで悪くなったところ

- ▲公園がない。駐車場がない。
- ▲公園の草や剪定が滞っている。
- ▲サッカーや野球の出来る公園が近くにない。
- ▲緑は道路沿いと神社、公園のみで各住宅の緑が減った。
- ▲民有地の空き地を公園化するのはどうか。

③ 地域の課題

本地域における緑の現況や地域住民の意向を踏まえ、緑のまちづくりに関する課題を整理しました。

- 河川、農地等自然の緑の保全
- 農地や生産緑地地区の保全と活用
- 寺社等歴史ある緑の保全と活用
- 地域に不足する公園緑地の整備
- 工業地の緑化や活用と緩衝緑地の保全と管理
- 地域住民、団体、事業者との協働による市街地の緑の創出と育成

④ 緑のまちづくり方針

地域の現況や課題を踏まえ、大浜南部地域の緑のまちづくりの方針を以下のように設定します。

衣浦港を活かして緑の拠点の創造と活用を目指す緑のまちづくり

＜具体的な取組＞

- 衣浦港、矢作川、蜷川の河川環境の保全と水辺空間の活用や、都市計画道路の空間の活用により、ヒーリングガーデン・エコパーク、伊勢町公園等を拠点とした水と緑のネットワークの形成を図ります。
- 優良農地、社寺林等自然の緑の一体的な保全と活用を図ります。
- 地域を代表する緑の拠点となる近隣公園の整備を推進します。
- 臨海工業地帯と市街地を緩衝する緩衝緑地の保全に努めます。
- 公害防止協定による臨海工業地帯の緑化を推進します。
- 密集市街地において緑のオープンスペースの確保を図ります。
- 地域のシンボルである前浜緑地、社寺林等歴史ある緑の保全を図ります。
- 市街化区域に点在する生産緑地地区の保全と活用を図ります。
- 身近な街区公園の整備と地域住民との協働による施設の適正な維持管理を推進します。
- 都市緑地の保全と活用を図ります。
- 各種制度を活用して、地域住民との協働による市街地の緑化を推進します。
- 碧南緑地はスポーツ・レクリエーション活動の拠点として再整備を促進します。



熊野大神社



 都市公園(現況)	 生産緑地地区	 緑の拠点	 水的环境軸
 都市公園(計画)	 農用地区域	 水の拠点	 地域界
 公共施設緑地	 河川区域	 緑の環境軸	 市街化区域(現況)
 民間施設緑地		 緑のみち	 新たな産業地